

教科	英語	学年	第3学年	担当者	池田 裕美 ・ 杉本 優佳 (少人数)
----	----	----	------	-----	---------------------

[教科目標]

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

[使用教科書・教材等]

- ・教科書 (「SUNSHINE ENGLISH COURSE 3」開隆堂)
- ・教科書ワーク (ニュー・エンジョイワーク)
- ・リスニング教材 (聞きトレ64)
- ・ノート
- ・ファイル

[学習計画]

学期	単元名	学習のねらい (身につけたい力)	準備物
1 学 期	Program1 A History of Vegetables	過去分詞を使った、受け身の表現や「完了」を表す現在完了の用法を正しく身につけ、運用する。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program2 Volcanoes in Japan	「経験」「継続」を表す現在完了の用法を正しく身につけ、運用する。	
	Program3 The 5 Rs to Save the Earth	It is ~ (for +人) to... / know how to ~ / ask ~ toの用法を正しく身につけ運用する。	
	My project 7 あの人にインタビューしよう	相手を想定して質問内容を考え、既習事項を用いて原稿を作成し、インタビューを行ったり、応答したりする。	
	Program4 Faithful Elephants	まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	
2 学 期	Program 5 Sushi-Go-Around in the World	<主語+動詞+目的語+補語>で表される表現や、間接疑問の用法を正しく身につけ、運用する。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program 6 Let's Talk about Japanese Things	後置修飾の用法を正しく身につけ、運用する。	
	My Project 8 日本文化を紹介しよう	既習事項を用いて原稿を作成し、身の回りのものや日本の文化について正しく説明する。	
	Program 7 What is the Most Important Thing to You?	関係代名詞 (主格) の表現を正しく身につけ、運用する。	
	Program 8 Clean Energy Sources	関係代名詞 (目的格) の表現を正しく身につけ、運用する。	
	Program 9 Education First: Malala's Story	まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	
3 学 期	Power-up Listening 有名人の名言	まとまりのある英文を聞いて、内容を理解する。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Special Project 卒業に向けて一思いを伝えよう	既習事項を用いて自分の考えや夢、お世話になった人へのメッセージ、中学校の思い出、将来の自分への手紙などを書く。	
	Extensive Reading 1. After Twenty Years 2. Mother Teresa 3. The Hat	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	

[評価の観点と評価の方法] (通知表のつけ方)

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 25%	外国語表現の能力 25%	外国語理解の能力 25%	言語や文化についての知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	英語に関して興味を持ち、前向きな態度で授業に臨んでいるか。また、与えられた課題をしっかりとやれるか。	自分や相手に関することを、英語で話したり、書いたりすることができる力が身についたか。	英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解できる力が身についたか。	英語とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身につけているか。
評価の方法	出席の状況、準備物 授業態度、提出物 宿題の取組状況 スピーチテスト	スピーチテスト 定期テスト リーディングテスト	定期テスト リスニングテスト	小テスト (単語テストなど) 定期テスト

[授業の受け方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

- ① 英語の学習では、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよくつけていくことが大切です。
- ② そのためには、耳、口、目、手を使って、習ったことを繰り返し復習しましょう。
- ③ 新しく出てきた単語や文の発音は、授業中に先生やリスニングCDの発音をよく聞いて、繰り返し音読して覚えましょう。
- ④ 授業中は、間違いを恐れずに、積極的に発表しましょう。学習についてわからないことは、遠慮なく質問してください。

[家庭学習の進め方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

- ① 英語は予習よりも復習が大事です。その日に学習したことはその日のうちに復習しましょう。
- ② 教科書の英文や単語など、読みながら書く練習を何度も繰り返しましょう。